

昭和24年12月15日



第22號

# 足立区政ニュース

## THE ADACHI KUSEI NEWS

発行

足立区千住一ノ五〇  
東京都足立区役所  
足立区長大山雅二

編輯

總務課文書係

電 淺草 4 4 0  
足立 3 8 4 7



人力車が客待ち顔に並ら  
 んでいたこともあつた、  
 日の丸の旗に驛頭が埋め  
 られたこともあつた、戦  
 いに敗れた兵士が汚れた  
 戎衣につかれ切つた身体  
 を包んで、續々と降りて  
 きたときもあつた、何時  
 の間にか二十六萬の人の  
 足立區に吐き出し定着さ  
 せた驛は、世智辛い人の  
 世の師走を、かつての赤  
 繩にしたような無表情さ  
 でみつめている。

(藤見光雄氏撮影)



# 區營共同作業所

## いよゝく 作業開始

失業者の救済事業の一環として設置を急いでいた足立區營共同作業所はこの程受入態勢が整ったので十一月三日からいよゝく作業員の募集を開始した。

この作業所は現に失業している人々を銚銜の上適當と認められる者を就勞せしむるもので生活の安定自立を圖ることが目的である。

作業員を希望する方は左のことなを御承知の上足立公共職業安定所にお申込み下さい。

- 作業内容
  - 竹・籐材料による手
  - 工藝品製作(竹・籐細工)
- 作業時間
  - 自 午前八時

至 午後五時  
(休憩は一時間十五分)

● 定員
 

- 男子十五名
- 女子十五名

● 年齢別
 

- 十八才—約五十才

● 休日
 

- 毎日曜日

● 見習期間
 

- 十五日間を見習期間とし日給八十圓を支給する
- 以後は出來高拂とするも各人の能力に應じ、日給制となる

● 各種の條件に該當しなくても手先の器用且つ健康な者で足立區在住者に限る

### 区議會日誌

- 11月24日
- 教育委員會
- 昭和二十四年度小學校復舊工事請買入札經過報告について
  - 區立第二中學校獨立校舍建設の請願書について
  - 區立寺地小學校々庭擴張の陳情書について
  - 區立第十一中學校々舎並びに校庭修理促進の陳情書について
  - 區立第十一中學校増築の陳情書について
  - 千壽第六小學校便所増設の陳情について
- 11月25日
- 厚生、土木建築合同委員會
- 屠場問題について
- 12月2日
- 厚生委員會
- 保育園設置について

### 職員慰安藝能大會



十二月三日區では職員による慰安藝能大會が行われ、素人のど自慢、日本舞踊、ハーモニカ獨奏、劇、副引等々盛り澤山のプログラムで半日を楽しく過した。寫眞はオールドブラツクジョウウ合唱する婦人部有志

### 小宮直太郎氏

#### 選舉管理委員長に就任

田中委員長が都合により委員長の職を辞したので、十二月一日開會の區選舉管理委員會は、これを承認し後任委員長の互選を行つた結果、小宮委員が委員長に當選した。

なお當日の委員會では、衆議院議員選舉人名簿の脱漏者からの修正異議申立について、

### 一九五〇年世界農業センサス 準備調査開始

國際連合食糧、農業機構の主唱する一九五〇年世界農業センサスの趣旨に則り、各國農業との比較において、日本農業の實態を把握すること、目的として、明年二月一日現

事業体名簿の作成は農業センサスの基礎となるものであるから、一般農家の御協力により、完全な名簿が得られますようお願いいたします。

### 東京都生業資金貸付 追加申込案内

今回第一回都生業資金貸付申込の追加分として申込書を受付いたしますから第一回の申込期間中に申込用紙の交付を受けて申込みの相談に來られた際申込用紙の交付を受けられなかつた者は左記によりお申込み下さい

▲ 申込場所
 

- 常東、千住、千住新橋、五兵衛、東洲江、梅田、沼田の各民生事務所及び本木民生館

▲ 申込期間
 

- 十二月九日から十二月十七日まで

### 農業足立 榮えある表彰

十一月二十三日の勤勞感謝の住き日を記念して立川農業試験場で東京都知事から左の四氏に多年農業に専念又は組合の業務に大いに力を致し産業振興に寄與するところ極めて大なる理由で表彰された。

東栗原町二、二二 西野市郎  
西加平町九九八 伊藤彦七  
加賀沼沼町二九八 新井金光  
足立農業協同組合 塩坂仲利

### 紙・文具

## 大森商店

足立區千住三ノ三七  
千壽第一小學校前

### 木材・石材一切

## 東武建設株式會社

永井 一己  
足立區栗原町一二五八  
電話足立二二六〇番

## 中川直次郎

足立區千住五丁目六八番地  
電話足立三六一三番

一、一萬圓、五萬圓、拾萬圓、貳拾萬圓五十口を以て一團とします

一、新圓は毎月一回發會します

右加入御利用を御願ひします

### 日本火災海上保險株式會社

千代田火災海上保險株式會社  
千住代理店  
千住支部  
相互無盡株式會社



# 天晴れ区立三中

## 区長から賞状

〔全日本學生音樂コンク〕  
〔東日本大會に入賞〕

毎日新聞社主催、日本放送協をパス、十月三十日中大講堂會後援の全日本學生音樂コンで行われた本選に臨み見事第クール東日本大會の予選は去三位を獲得した。る九月二十五日九段高校で二な十一月二十九日には足立十四校参加の下に開催、我が區長から賞状が贈られ斯道に足立區からは區立三中が出馬對する熱意と努力が賞讃されし、他の七校と共に堂々予選た。

## 學生音樂コンクール

に入選して

區立三中教諭 今里保三

今回は皆粒よりの有名校ばかりの甲乙のない立派な演奏、熱演で生徒の態度も仲々しつ寸分のすきもない研究と練習かりしてました。



課題曲は三部合唱「妹に」(深尾須磨子詞 スコット曲)で本校では自由曲として三部合唱「ベナカ」(北原白秋詞 山田耕作曲)を演奏した。あくまで學習の一部門としての研究發表の意味で参加した。音樂を音樂として演奏する積りであつても競演になると生徒の意識も高調して幾分堅くなつたようです。

## 腕自慢農産物

## 品評會

淵江實踐郷増産部では品種の改良増産技術の向上を圖る爲淵江管内全農家の出品を得て十一月二十九日第十六出張所會議室で足立農業協同組合、足立區役所賛助のもとに農産物品評會を催した。當日は都區長及び平田委員長から賞状が授與された。

## 共同募金の成果

### 目標額の八四%を上廻る

本年度の共同募金運動は去る十月一日から一ヶ月間全國一齊に展開され街行く人々の胸を赤い羽根で飾つたが、この程足立區の募金額が判明した。これによると十月二十日現在では六二七、〇七七圓五〇銭で本區目標額の二六%であつたがその後協力員の献身的な努力と區民の温い協力が實つて目標額の八四%を上廻る一、九九四、九二九圓という豫想以上の好成績を示して終了した。なおこの金額は昨年度の募金額より四二四、五四五圓の増加となつて

支部名	募金額	目標額
常東	251,979	258,535
千住	373,828	396,268
千住新橋	281,554	189,560
五兵衛	150,241	121,008
東淵江	173,901	115,455
梅田一部	269,724	199,073
梅田二部	231,868	194,375
本木一部	236,600	184,640.50
本木二部	182,182	163,039.50
沼田	214,123	172,975
合計	2,366,000	1,994,929

## 年末年頭の執務時間

區役所及び支所、各出張所は通常二十九日から休みになりませんが、區民の皆様の便宣のため三十日まで窓口事務を取扱い一月は四日から平常通り執務致します。なお休日でも緊急を要する事務(死亡届、埋葬認可書、傳染病等)は區役所、支所、宿直員が處理致します。

## 開運のチャンス ラッキーセブンス

おなじみのラッキーセブンスは新春に喜ばれる贈物を揃えて、ただ今第七回を賣り出し中です。あなたのいま欲しい物が當り、よい運が開けます。ラッキーセブンスは一年たてば何時でも拂戻しができ、空くじなして賞金や賞品が當り、税金はかかりません。幸運はどなたに開けますか御近所の郵便局に早速御申込みになつてたのしい新年を迎えましょう。

- 一等甲 拾萬圓
  - 二等甲 一着分
  - 二等乙 壹萬圓
  - 三等甲 布團上下一組
  - 三等乙 毛織ジャンパー
  - 丙 (空くじなし)
- 申込期間 本年十二月末  
抽せん 來年一月二十八日  
賞金、賞品の支拂は二月十日から

印章ゴム印  
事務用文具

九天堂印房  
千住橋戸町四三番地  
電話足立二三六六番  
千住大橋通り三ツ角

大衆會席  
忘年、新年宴會には  
サロン 京樂  
店主 日比野守一郎  
都電終点前  
電足立二三〇一番



日新工業 株式會社  
社長 佐久間榮吉  
本社 千住東町九三  
工場 東京・大阪・山形・綾瀬

品質優良  
理想的セメント瓦  
建設院規格品  
セメント瓦製造販賣  
久工業合資會

本社 福島縣石城郡四ツ倉町  
東京出張所 足立區千住一ノ三七  
鈴木英武



一沿革のこと  
古書によれば足立區は南足立郡に「天正十八年七月小田原陥り徳川氏入府するや本郡(日)區劃戸口、前述の如く保内は淵江領なる名の下に幕府の直轄となり郡代伊奈氏の治を受けたり云々」又曰く「大同年間山城國人八名此地に來住し木によりて堤を築きて土地の開拓を以て茲に一部落をなすに到りしかば保木間の名をうるに至りと云ふ云々」その後明治の新政となるや同二年小菅縣の所轄となり同十一年東京府の所轄となり同十一年十一月に至りて南足立郡に屬した。次いで明治廿二年市町村制の實施せらるるや保木間、伊興、竹塚、六月の四ヶ村を併合して一村となし舊領名を襲用して淵江村と稱した。伊興村の分離したのは明治二十五年である。なおそれから保木間、竹塚、六月の三字で一村となり、更に昭和七年市郡併合により、これ等の字は各々町となり淵江の名稱は解消となつた。なお左記によれば現在の梅田町が往昔淵江村と稱えたことは興味深いことである

二、淵江の概況のこと  
(イ)位置、足立區の最北端で毛長堀で埼玉縣北足立郡に堺し面積四、四七四方新、即ち首都の北の護りとして陸羽街道水神橋の檢問所は關物質搬入の摘發其他經濟刑事上の關所として戦後の我國再

力會社事業場がある  
(ニ)政治、文化、舊蹟等 明治廿二年市町村制實施當時の増田梅藏初代村長から坂田新之助最終村長まで十五代で市郡併合となり、小學校は現在の中村珍夫校長で第十三代である大正十五年に當時として畫期的な鐵筋コンクリート校舍を建築し今なお本區内唯一の校舍である。他に郡會議員も多數送り出している因みに大正十二年度の歳入出予算が金壹萬七千四百六十五圓、昭和七年度には三萬六千四百五十三圓であり誠に今昔の感

炎天寺 六月にあり義家奥州に下向の時野武士、道を遮りてこれを阻止す頃しも六月の炎暑にあたり軍勢いたく勞れて戦いに苦しみ、義家鶴岡八幡に祈誓し日を暮後にして戦ひしに野武士等向つて眼眩み驚るもの多く義家大勝を得たりしかば八幡神社を茲に勧請し其の別當を炎天寺と稱し村名を六月と呼べりと傳ふ云々」更に曰く「村民の氣風は概ね素朴敦厚にして専心生業に勤勉なり、一般に富裕にして自活の産を擁し他に依頼するの要を見ずされば自我心強きも獨立自營の精神亦強く勤儉貯蓄の心愈固し又一面には保守の觀念強く向上求知の念乏しき傾向なきにあらず、人性温和にして飲酒喫煙法律を案ずる風俗割合に少く夜遊び喧嘩口論等極めて稀なり云々」以つてその一端を知るに足る

# 淵江郷今昔のこと

以上が淵江の今昔の概況である。實に桑海の變を経て愈隆盛、人情風俗前述の通りであり未だに此の淳風亡びず爲に諸事他に範たるの故を以つて東京都は淵江郷を都内第二位の理想郷土として昭和廿四年二月十七日付で新生活と貯蓄の實踐郷に指定せるは蓋し宣なりと言ふべきである。爾來平田委員長を中心とし管内の有識者を網羅して圓滿なる運営の下躍進途上にある足立區の爲將又祖國再建の爲に日夜最大の努力を爲しつつある淵江實踐郷の隆盛を祈るや切である (藤田祐幸)

<p>御辨當の代りに おいしいうどん めん類外食券食堂 そ ば 久 千住一丁目六五</p>	<p>土地測量 建築工場 出願代理 石戸工務所 建築代理士 石戸時雄 事務所 足立區役所前 電話 足立三〇六四番 西新井警察隣り 自宅 足立區栗原町二五</p>	<p>諸印刷と文房具 稅務署労働基準署 諸届用紙あります 織田印刷所 千住二ノ五五 電 足 三 七 六 七 番 北千住驛前美觀商店街通</p>	<p>家具・校具 最新式 木材乾燥室完備 諸官廳、學校に最も 御信用ある 千住 東町 安井工業 株式會社 電話 淺草 四五五九二 足立 三三〇三 三三〇三 三三〇三 ★廣告料は一回に付一欄 二百圓 一欄以上何欄でも結構です 長期契約歡迎</p>
---	--	---	--